

総合情報センター報

第 3 1 号

2 0 2 6 年 9 月

津山工業高等専門学校
総合情報センター

[巻頭言]

学生と AI と総合情報センターの未来

寮務主事 菊地 洋右

世の中の情報環境は、ここ数年で驚くほど変わりました。個人的には AI が賢くなり、一般に普及するとは思ってもみませんでした。せいぜい私が生きている間は将棋や囲碁といったルールが明確なゲームなどに限って人間と同等に戦える程度だろうと思っていました。今では生成 AI はさまざまな場面で人間をサポートする存在となっています。これからの社会では生成 AI をどう使っていくかが仕事や学びの重要なカギになるのでしょう。

学校教育においても生成 AI の利用についていろいろと議論があります。学生はすでに生成 AI を活用しています。ChatGPT をチャッピーと呼び、レポート作成やプログラム作成等に活用しているようです。その影響か、レポートや報告書は読みやすいものが増えたなあと思っています。特に卒論の内容をまとめた英語の概要はとても上手になっています。文法の間違いもなく、難しい英単語も使いこなしています。学生がすでに活用している AI の使用を全面的に禁止することは難しいでしょう。ならば、教育で「どの程度まで AI の使用を許容するのか」、「AI を正しく使うとはどういうことなのか」を明確にし、教えていく必要があります。本校では今年度より高度情報人材育成プログラムが導入されました。そのプログラムでは AI の適切な利活用も教育の一環となるのでしょう。

さらに未来においては日常生活において AI が現代のスマホと同じくらいに欠かせない存在となるでしょう。現在でもすでにチャッピーと愛称がつけられているくらいですから生成 AI が身近な存在になることは容易に想像できます。そのような未来を考えると、AI はおもちゃの「たまごっち」のように個人で育てるものとなっているかもしれません。個人が自分専用の AI を育て、英語に強い AI や数学に強い AI、金融や裁判、小説作成など色々な特性をもつ AI が誕生し、その AI の特性そのものがそれを育てた人の個性となるでしょう。また、AI が入っているデバイスもどんどん変化していき、体内に直接埋め込むデバイスになっているかもしれません。小説「怪物の木こり」や「シークレット・オブ・シークレツ」では脳にデバイスを埋め込んだ人の話が出てきます。現実にはイーロン・マスク氏の企業も脳デバイスの研究開発を行っています。AI 脳デバイスを利用する学生が現れた場合、教育はどうなるでしょう。試験でスマホは禁止できるけれども AI 脳デバイスを禁止にはできないでしょう。では、AI 脳デバイスを使用可にしたら埋め込んでない人が不利になるかもしれません。では、電子デバイスをすべて許可したら試験はどういう意味をもつのでしょうか。そうした未来で「学ぶとは何か」「試験とは何か」が問われることになります。そんな未来で総合情報センターの役割はどう

変化するのでしょうか。もしかすると学内で登録されている PC は一台もなく、AI 脳デバイスで直接通信が行われ、AI 脳デバイスは外科手術が必要で総合情報センターでは対応できない。すると PC 管理やネットワーク管理は必要なくなり総合情報センターは不要になるかもしれません。元総合情報センター専門教員としてはそんなことを夢想しています。

（この文書もチャッピーとコパちゃんに校正してもらっています。）

目 次

[巻頭言] 学生と AI と総合情報センターの未来

寮務主事 菊地 洋右

[報告]

1. 部門報告

1. 1 教育情報システム運用管理部門

副センター長 野中 摂護 ————— 1

1. 2 情報ネットワーク運用管理部門

副センター長 寺元 貴幸 ————— 2

1. 3 事務処理システム運用管理部門

副センター長 島田 悠彦 ————— 1 1

[資料]

1. 新規導入ハードウェア・ソフトウェア一覧 ————— 1 2

2. 令和 7 年度授業・研究利用状況

2. 1 授業での利用 ————— 1 2

2. 2 研究での利用 ————— 1 3

3. 開放利用 ————— 1 4

4. 委員会報告（令和 7 年 4 月から令和 8 年 3 月まで）

4. 1 総合情報センター運営委員会 ————— 1 4

4. 2 総合情報センター連絡会 ————— 1 4

5. 主要日誌（令和 7 年 4 月から令和 8 年 3 月まで） ————— 1 7

6. 総合情報センターの予算執行状況 ————— 1 8

7. 令和 8 年度総合情報センター利用授業時間割 ————— 1 9

8. 令和 8 年度総合情報センター関連の委員と職員

8. 1 総合情報センター運営委員会委員 ————— 2 1

8. 2 総合情報センター職員 ————— 2 1

9. 校内ネットワーク ————— 2 2

編集後記

[報告]

1. 部門報告

1. 1 教育情報システム運用管理部門

副センター長 野中 摂護

1. 教育用計算機システムの運用

教育用計算機システムの運用

令和7年度は、運用開始からシステム4年目となり、報告されている不具合は特にありませんでした。これにより演習室を利用する授業は問題なく実施出来ています。前年度より開始した、ReadWrite および ReadOnly サーバーのファイル整理については、新構築したフォルダ構成に移行準備をするよう呼びかけました。データの移行については特に大きな問題は挙がっておらず、順調に移行できたものと考えられます。今年度に掛けて旧フォルダは削除し、新構成での運用を開始したいと思います。

演習室の利用状況について

演習室の利用については問題なく、概ねマナーを守って利用されていました。快適な利用環境の維持・向上のため、演習室Bおよび演習室Cへ至る廊下のタイルカーペットの張替、演習室Aの下足箱を室外へ配置換え、演習室A内のタイルカーペットの張替を行いました。

総合情報センター演習室利用者説明会

以下の通り、演習室の利用者説明会を実施しました。

日時：令和7年4月2日(水) 14:30ごろから（セキュリティ説明会終了後）から

場所：対面とオンデマンド動画配信

参加者：68人（うちオンライン51人）

2. BYODを基盤としたICT教育環境の検討と整備

令和2年より導入したBYODノートPCの利用状況は、令和7年度で6年が経過しており、本校の教育システムに深く定着しました。令和6年より案内しているノートPC（HP ProBook 441 G11）は以前よりスペックも上がったため、より快適な使用環境を構築できている様に見受けられます。教員側もMicrosoft TeamsなどLMSや授業コンテンツを組み合わせ、授業資料や課題・レポート提出管理などに活用しており、教育効果を高める利用方法が多くあります。今後はさらにAIサービスの発展も大きく、従来の活用事例や利用方法と組み合わせることで、教員側と学生側が相互にアップデートし、より効率的な利用が期待できるものと考えます。

また一方で、高度情報人材育成による教育改革および導入も進んでおり、益々ICT教育環境整備の重要性が高まっています、これら教育の実施方法の高度化に向けて学校全体として取り組んでいくことを期待しています。

1. 2 情報ネットワーク運用管理部門

副センター長 寺元 貴幸

情報ネットワーク運用管理部門の活動に関して報告いたします。津山高専の学内ネットワークは2025年度（令和7年度）において2022年度（令和4年度）の途中から運用を開始した「つなネット7」へ移行してから、本格運用を開始して4年目の年になります。全国高専統一ネットワーク「つなネット7」への移行は決してスムーズという訳にはいきませんでした。が複数存在したサーバの集約化、学外向けサーバのDMZへの移行、対外接続のSINET一本化などの措置により、シンプルかつ高専機構本部が目指すべき統一ネットワークへと徐々に近づいてきました。また無線LANのアセスポイント(AP)についても「つなネット6」の資産を継続しつつ新しいシステムに移行し、さらに本校独自でAPを買い足すなどサービスの向上を行ってきました。

近年学生の所有するBYOD端末やスマートフォンなどの端末を無線LAN接続する台数が増えて来たことから、今後もアクセスポイントの増強と利便性の向上は不可欠と考えています。さらに、セキュリティの観点から全教職員の多要素認証が導入され、令和3年度からは全学生も多要素認証へ移行しました。今年度はBYOD端末の導入から6年が経過して、本科の学生はすべてBYOD端末で接続するようになっています。毎年細かなトラブルもありましたが概ね順調に運用されています。

本校のネットワークは管理・利用上の利点から、以前はVLANではなく敢えてフラット構造を採用していましたが、平成25年度末の校内ネットワーク更新から新ネットワーク「つなネット5」を導入し、セグメントを分割したVLAN構造へと転換を図っています。「つなネット6」においてもこの構成を引き継ぎできました。「つなネット7」ではより高いセキュリティとして、有線LAN/無線LANともに必ずなんらかの認証を受けて接続する事と、教職員と学生のネットワークを分離するなどよりセキュアな環境へと再構築する必要性がもてられました。これらは新しいネットワーク機器と落札業者と相談をすすめ、最適な設定を目指す必要がありますが、ネットワークの更新作業と同時にネットワーク構成を変更することは困難と判断し、まずは機器を新しい「つなネット7」に移行するに留め、ネットワーク構成の変更は次年度に行うことを前提に更新作業を実施しました。その後、次の統一ネットワークの更新作業に関して、高専機構本部からいくつかの連絡があり、ネットワークの安定運用を第一に考えると、不用意にネットワークの設定を変更することのリスクの方が高いと考えるようになり、現在では令和9年度に実施される次期ネットワーク「つなネット8」の敷設時に同時に変更するという方針に変更されました。

平成28年度からOffice365（現Microsoft365）ならびにLMSシステム（現WebClass）の本格的な教育がスタートし、学生のメールもMicrosoft365 (@tsuyama.kosen-ac.jp) が基本となりました。大きな変更としてはほぼ無尽蔵にあったOffice365関連のストレージ容量に制限が課せられ、今後は容量を気にしながらの運用となります。また公式サポートのLMSもBlackboardからWebClass

に変更されるなど、クラウド環境の変更が大きな話題となりました。津山高専でもこれらの変更
に柔軟に対応する必要があります。

電子メールに関しては、tmsとMicrosoft365の併存期間が続くと予想されましたが、上級生でも
Microsoft365の利用者が順調に増えたこともあり、平成29年度からは学生はすべてMicrosoft365
に移行し、平成30年度からは学生ユーザはtmsへの登録を行わないように変更されました。

なお教職員に関してはまだtmsによる@tsuyama-ct.ac.jpのメールアドレスが基本しており
Microsoft365は補足的な扱いという考え方に変更はありません。ただ、電子メールも今後多要素
認証が求められており、この導入が困難であればMicrosoft365への移行も検討する必要があります。
ただ令和5年度に引き続き令和6年度もこの移行を本格的に検討すべきことを予想してしま
したが、大きな構造を変えることは人的にも時間的にも余裕がなく、小変更にとどまっています。そ
れでも令和7年度は、外部向けサーバをDMZ領域に移動し、対外接続回線をSINETのみに変更しまし
た。これにより、安全性の向上と、管理が必要なサーバの数を減少させることによる、経済的・人
的な負荷の低減を実施できました。今後は次のネットワーク更新までは変更の設計段階で留めて
おき、実際の変更はネットワークの更新時に実施するのが最善だと考えています。

個人情報の管理に関してはより厳格に行うなど情報セキュリティ対策の強化が要求されてい
ます。そのため平成28年度から高専機構本部が標的型攻撃を想定して模擬攻撃が実施されるなど、
セキュリティ教育も徐々に浸透してきました。しかし、ランサムウェアや標的型攻撃は後を絶た
ず、これに関連して添付ファイル付きのメールを極力排除し、校内でのファイル交換や共有はフ
ァイルサーバならびにDescent's NEOまた個人名が含まれるメールに関してはDescent's NEOを利用
することを徹底するようになりました。

平成7年度は大きなネットワークトラブルは発生しませんでした。しかし、そのほかにも小さな
トラブル等は発生していますので、設定の変更やトラブル、その他ネットワーク関係のイベント
等について以下で報告します。

令和7年4月1日：Microsoft365アカウント削除(STEAM)

令和7年4月2日：ロボ技顧問のエイリアス追加

令和7年4月2日：外部業者からのメール調査依頼

令和7年4月3日：BYOD PC設定のための TSUYAMA-GUEST の利用申請

令和7年4月3日：旅費システムの使用停止

令和7年4月7日：選択科目のメールエイリアスとWebclassの学生登録

令和7年4月7日：Google for educationの利用の有無調査

令和7年4月10日：メール不達（電気：桶）調査依頼

令和7年4月10日：webサイトへのアクセス制限の確認

令和7年4月17日：電子メールのエラー(proxy2)

令和7年4月19日：macアドレスの変更とOSの変更

令和7年4月26日： 停電（1秒×2回、50秒×1回）
令和7年4月26日： ドライブ状態通知(不良セクター)TdsNAS3_TeraStation
令和7年4月26日： サーバ証明書の有効期限について ⇒更新しない
令和7年4月27日： サーバ証明書の有効期限について ⇒更新
令和7年5月2日： バックアップ用RAIDの再構築について
令和7年5月2日： ゲスト用のWiFi接続の申請
令和7年5月2日： Acronis作業に関するアクセス許可確認
令和7年5月7日： Outlook利用停止
令和7年5月8日： 高度情報人材育成事業推進室のドメインの設定
令和7年5月9日： 本校の学内向けWebサーバに島田先生のホームページを作成
令和7年5月14日： UTM装置(FG-200F)のファームウェア・アップグレード
令和7年5月17日： ホームページの訂正依頼
令和7年5月23日： ホームページの訂正依頼
令和7年5月28日： トラフィックレポートサービス閲覧不可
令和7年5月28日： アクセス履歴確認
令和7年5月30日： Tfs上のファイル復元
令和7年5月30日： サーバ証明書の有効期限
令和7年5月30日： サーバ証明書の有効期限
令和7年5月30日： サーバ証明書失効完了通知
令和7年5月30日： Microsoft365のアカウントの付与
令和7年5月30日： UPDS-HR（給与明細・身上調書・年末調整システム）のアクセス不可
令和7年6月2日： 高圧受変電設備保安点検（9/6, 9/7）による停電に伴う発電機給電機器
令和7年6月2日： tms上のメールスプールサイズに関する連絡
令和7年6月2日： Acronisエージェント用IPアドレス払出
令和7年6月2日： 津山高専_250603_IdPサーバ証明書の更新
令和7年6月11日： トラフィックレポートサービス閲覧不可
令和7年6月24日： ホームページの更新について（トップページのバナー）
令和7年6月12日： サーバ証明書の更新
令和7年6月13日： 津山高専_250603_IdPサーバ証明書の更新
令和7年6月18日： タイ高専専攻科生のアカウント作成
令和7年6月24日： つやまSTEAM人材育成塾：Microsoft365アカウント登録
令和7年6月13日： V-LAN，CCCN故障発生および影響回線
令和7年6月16日： 一部のプロバイダへのメール不達
令和7年7月1日： Thunderbirdアドレス帳の更新
令和7年7月17日： メール確認のお願い

令和7年7月13日： 無線LAN不調

令和7年7月14日： Windows向けクライアント用プログラムの脆弱性への対応

令和7年7月23日： 財務会計システムのメンテナンス

令和7年7月24日： サーバ証明書の更新(tdnn)

令和7年8月1日： Thunderbirdアドレス帳の更新

令和7年8月7日： 校内無線LAN (TSUYAMA-GUEST) の利用

令和7年8月27日： サーバ証明書の有効期限

令和7年8月28日： TdsNAS3_TeraStation Status Report

令和7年8月18日： アクセス履歴確認

令和7年9月6日： Desknet's NEO が利用不可

令和7年9月9日： 「統一ネットワークシステム」に係るFortiGateファームウェアアップデートに伴う事前連絡

令和7年9月16日： 合格者一覧の公開終了

令和7年9月10日： フォルダ復活 (情報システム系)

令和7年9月18日： サーバ証明書の有効期限

令和7年9月18日： 単位互換用サーバの為のIDPの設定(九州工業大学)

令和7年9月18日： 校内無線LANの利用申請

令和7年9月25日： サーバ証明書失効完了通知

令和7年9月26日： ユーザ名の変更 (電気：中村)

令和7年9月30日： kovcs : PING応答がありません

令和7年9月30日： メール受信確認依頼

令和7年10月1日： Thunderbird 用のアドレス帳を更新

令和7年10月1日： 電子メールサーバのスプール容量

令和7年10月1日： シャットダウンソフトの脆弱性

令和7年10月14日： 以降Windows 10はネットワークに接続しないよう注意喚起

令和7年10月2日： 認証連携IDサービス 認証サーバ証明書更新

令和7年10月8日： ループの発生

令和7年10月10日： メールにスパムフィルタ

令和7年10月13日： WebClassに障害

令和7年10月21日： 連携メーリングリスト (t-renkei-ml)の更新

令和7年10月21日： トップページバナー追加

令和7年10月21日： WHOIS登録のご協力をお願い

令和7年10月21日： ネットワークループの発生

令和7年10月22日： MACアドレスの頻繁な入れ替え

令和7年10月23日： サーバ証明書の有効期限

令和7年10月31日： 掲示板端末の不具合
令和7年11月1日： サーバ証明書の有効期限
令和7年11月2日： バッテリー電源で作動
令和7年11月6日： 津山高専ホームページ「校報」ページのプレビュー数調査依頼
令和7年11月6日： サーバ証明書の有効期限
令和7年11月10日： 連携メーリングリスト (t-renkei-ml)の更新
令和7年11月12日： サーバ証明書の有効期限
令和7年11月25日： サーバの一時応答なし
令和7年11月26日： アカウントの重複の有無確認依頼
令和7年11月21日： ネットワーク一時停止：UPS交換作業
令和7年12月8日： TSUYAMA-GUESTの一時パスワード
令和7年12月9日： DNSのログ
令和7年12月11日： 連携メーリングリスト (t-renkei-ml)の更新
令和7年12月11日： 連携メールalias (rennkei@tsuyama-ct.ac.jp)の更新
令和8年1月7日： Microsoft365パスワードのリセット
令和8年1月7日： メール受信設定の確認
令和8年1月13日： Proxyサーバ停止とそれに伴う設定変更のお願い
令和8年1月15日： 令和7年度情報セキュリティインシデント対応訓練
令和8年1月27日： 各種業務システムの障害
令和8年1月21日： WebClassサーバーアップデート作業に伴う停止
令和8年2月2日： Thunderbirdアドレス帳の更新
令和8年2月10日： サーバの状態不調
令和8年2月5日： VPN機能の無効化
令和8年2月16日： FortigateにおけるIPsecVPN設定
令和8年2月18日： ユーザ名重複の確認
令和8年2月26日： HPプレビュー数の調査依頼
令和8年2月27日： 入学者選抜試験合格者の本校HPでの公開
令和8年2月27日： 次期「高専統一ネットワークシステム」論理設計統一に係るパラメータシート
の提出
令和8年3月3日： Thunderbirdアドレス帳の更新
令和8年3月3日： kovcs：PING応答
令和8年3月3日： 危機管理対策部会のメーリングリスト更新依頼
令和8年3月3日： 危機管理対策部会のメーリングリスト
令和8年3月10日： メール転送の期限延長依頼
令和8年3月16日： サーバ室耐震固定工事に伴うネットワーク停止

令和8年3月19日： 高度情報人材育成事業推進室で新たに移籍したサーバ登録

令和8年3月9日： メールのエラー確認

令和8年3月11日： IPアドレスの重複

今年度本校で高専機構本部等へ報告したセキュリティインシデントは2件発生しました。

1件は学生の学習用に学外に公開していたサーバにおいて（学生が）他人の成績を閲覧できるようになっていた問題です。これに関してはサーバの学外公開を止めるなど対応を行っています。もう1件はメールの誤送信で送付アドレスの入力ミスでした。いずれも注意深く運用すれば防げていた案件であり、今後の再発防止にむけて令和8年度のセキュリティセミナー等で注意喚起を行う予定です。

また例年は年度当初に対面の「教職員を対象とした情報セキュリティセミナー」を実施してきたが、全員の参加が難したため、対面での情報セキュリティセミナー（4月2日）の様子を動画で撮影し公開を行いました。

「教職員を対象とした情報セキュリティセミナー」（オンデマンド配信）

「受講対象者」

津山工業高等専門学校に所属する教職員

（非常勤講師及び長期休暇・在外勤務等の教職員は受講対象外）

「受講期間」

4月10日～4月28日

また定期的に不要なアカウントや登録を削除する、サーバのソフトウェア、Windows Update、重要なソフトウェアのバージョンアップを適時実施と案内することで、健全性を維持しています。詳細は総合情報センターの連絡会の報告書をご覧ください。

MS-Windows系パソコンはWindows10のネットワーク接続を禁止するなど、ネットワークサーバのセキュリティ対策などを中心に、本部門の活動概要を報告します。

（1）コンピュータウィルス対策

ウィルスに感染しないためには、OSのアップデートとウィルスパターンファイルの最新版への更新が基本です。より一層、セキュリティ意識の向上にご協力をお願いします。

本校ではウィルス対策ソフトとしてWindowsパソコンおよびMacパソコンに関してはキャノン ESET Endpointアンチウイルスを使用しています。

ESETを導入している校内PC対して、令和7年度は80件の発見がありました。令和6年度は72件、令和5年度は125件、令和4年度は166件、令和3年度は323件、令和2年度は264件、平成31年度(令和元年度)242件に比較するとかなり少ない数字です（平成30年度は231件、平成29年度の232件、平成28年度の337件、平成27年度の120件、平成26年度の89件、平成25年度の112件）。ただ、ESETのエラー（更新できない、アクティベーションできない等）を示す通知がかなりの数あり、今年度

はこのエラーについても非常に顕著な場合は是正を連絡して注意喚起を行いました。

また既存企業を騙る偽メールやランサムウェア（コンピュータ上のファイルを暗号化しその暗号化を解除するために身代金(ransom)を要求するタイプのウィルス）や銀行の口座やクレジットカードの停止、各種サービスの異常を騙るものが非常に増えてきました。新しくメールフィルターを導入するなど努力はしていますが、完全に防ぐことは困難なため、今後も各ユーザのセキュリティ意識を向上させるなど、十分な注意が必要と考えられています。

Microsoft 社の Windows 系パソコンに対するアップデートの情報は、これまでどおり総合情報センターから全員に連絡しています。令和7年度に Microsoft 社の脆弱性および関連したアプリケーション等、セキュリティ関連での連絡は次のとおりです。

令和7年4月9日	Windowsセキュリティ情報
令和7年5月14日	Windowsセキュリティ情報
令和7年6月11日	Windowsセキュリティ情報
令和7年7月9日	Windowsセキュリティ情報
令和7年9月9日	Windowsセキュリティ情報
令和7年10月15日	Windowsセキュリティ情報
令和7年11月12日	Windowsセキュリティ情報
令和7年12月11日	Windowsセキュリティ情報
令和8年1月13日	Windowsセキュリティ情報
令和8年2月11日	Windowsセキュリティ情報

（２）ネットワークサービスの維持・向上

電子メール・Webページなどのネットワークサービスは、非常に重要な役割を担っており、安定的で高品質なサービス提供は本部門の重要な任務です。このため、通信機器・経路の維持管理、ネットワークサーバの安定運用、さらにサーバの適切な設定によるサービス品質の向上に務めています。なお教務システムは昨年発生した接続トラブルが継続しており、教務システム自体のOSやデータベースのバージョンが古いため、学内LANからは切り離した運用が行われています。

ネットワークの安定運用では、定期的なハードウェアの更新に努めており、毎年数台の更新を行っています。令和7年度はサーバの集約並びにDMZへの移行を進めサーバの台数を削減することができました。

ネットワーク系サーバにはFreeBSDなどオープンソースソフトウェアを利用し、RAIDを基本とし、複数バックアップにより、安定で安心なサービスを提供しています。

サービス品質の向上では、日々迷惑メールを予防できるよう努めており、いわゆる迷惑メールがほとんど着信しない快適なメール環境を実現していましたが、この維持には非常に高い負荷をシステム管理者にかけるため、今後はメールの不達等の連絡があった場合には修正しました。

新しくメールフィルターを導入し日常的なメンテナンスは行わないようにしています。このため、SPAMメールが増加傾向にあります。この対策として令和6年10月12日にDKIM・DMARCの設定を実施しました。ただし、必要なメールまでリジェクトしてしまう可能性があるため、現在はメールの受け取りに関しては、すべて受け取る設定としています。

従来から継続しているウィルス未添付のいわゆる迷惑メール対策として本校では、一度迷惑メールを送ってきたIPアドレスをブラックリストに追加し、以降の着信を拒否します。しかし、費用を掛けないで効率的に制限できる反面、何件かの過剰設定も判明しました。ご迷惑をおかけしますが、届くべきメールが届かなかった場合には、システム管理者(help)に速やかに連絡をいただくよう、お願いいたします。令和7年度に過剰な制限を解除した回数は3回、令和6年度は16回でした。過去では3回（令和5）、8回（令和3）9回、令和2年度10回、令和元年是14回、平成30年度は4回、平成29年度は11回）と従来にくらべ少なくなってきました。

また、本校公式ページでは、常に本校のホットなニュースを提供できるよう心掛けており、令和5年9月20日に次期HP(Ver. 5)を公開した後も、月々約50回以上の更新などメンテナンス作業を行い、最新の状態を保っています。Ver. 5では見た目も変更しましたが、過去のページを継承することが今後困難になること、また現在の情報と過去の情報が混乱する可能性などから、基本的に最新情報だけを掲載するという方針に変更しました。

（３）その他

上記以外に、掲示板システムの運用支援、高専間広域ネットワーク廃止、教育用システムの整備支援、緊急連絡網の整備、そして日常の運用管理（ユーザの管理、公式ホームページの運用とコンテンツ更新、メーリングリストの管理、ネットワーク機器障害への対応、不正使用のチェックなど）等、これまで通りの各種活動も行っています。主な業務の回数をいかに示します。

- ・メール転送依頼の対応：2件
- ・メーリングリストの変更以来：8件
- ・添付メールに関する注意喚起：6件
- ・IPアドレス登録および削除：23台
- ・Webでの学会等の参加確認：3件

例年4月に開催してきた情報セキュリティセミナーは対面と動画のオンデマンド配信のハイブリッドに切り替え、4月2日に第1回教職員を対象とした情報セキュリティ教育を実施しました。基本的に全教職員の視聴を義務づけました。初日に対面とオンラインで74名（うちオンライン50人）が参加しました。また今年度も機構本部より教職員を対象とした情報セキュリティ教育が実施され[Microsoft365]を使用したeラーニングシステムでの受講が行われ、全教職員が受講しました。学校全体のセキュリティを維持するのは各人のセキュリティ意識の向上と学生への適切な指導が必要です。また（害のない）標的型メールを実際にクリックするという模擬訓練が実施

されました。対応がまちまちでありあまり有意義な訓練とはなりませんでした。多くの利用者が標的型メールを受け取ったという報告をしてくれました。実際には今後も被害0件になるよう日頃から十分な注意をお願いします。さらに学生も含め全員に情報セキュリティ宣誓書の提出を義務づけています。

また上記のように総合情報センターでは、各種システムの追加など年々業務内容が増えております。平成28年6月より専門教員および専門職員の負担軽減と、センター員を通じた本校教職員のPCスキル向上のため、センター員の方々と教職員の皆さまに以下のことをお願いすることになりました。

1. ウィルス対策ソフトESETからの通知を各部署のセンター員が受け取れるようにします。

ESETからの通知にはコンピュータ名とトラブルの内容が通知されます。センター員にはIPアドレスからPC管理者を調べ、ウィルス警告への対応をとっていただきます。

2. センター員を通じた本校教員のPCスキル向上のために以下のような教員のPCトラブル対応手順を決めます。

教員のPCまわりのトラブルはいきなりセンターに連絡しないで、トラブル発生部署のセンター員が必ず1次対応して下さい。1次対応で解決した場合、情報共有と記録のため、対応内容をセンターhelp宛メール連絡をお願いします。

令和2年6月18日付けで機構本部よりメールの適切な取扱いについて以下のような注意喚起がおこなわれ、これ以降徹底を目指しています。

- ・メールの送信前や返信前に、送信先、返信先を十分に確認すること
- ・To、Cc、Bccの送信先指定が適切か確認すること
- ・個人情報等を含む機微な情報についてはメール本文に記載しないこと
- ・ファイルを移送する場合は、原則としてSharePoint等のファイルの共有相手が限定されたファイル共有のリンクを送付すること
- ・やむをえずメールにファイルを添付する場合は、必ずファイルの暗号化を行うこと
- ・SharePointやOneDriveを利用する場合は、共有設定が適切か確認してから利用すること
- ・業務に関する情報は、絶対に私用のメールアドレスには送信しないこと。

ただ、現在の連絡手段は電子メールよりTeamsやLMSや、そのほかSNSの利用したものが増えており、電子メールの優先度が低くなっているのが現状です。電子メール以外にも、送信ミスや情報漏洩は起こりうるので今後もセキュリティ意識の向上が不可欠な状況は変わりません。

1. 3 事務処理システム運用管理部門

副センター長 島田 悠彦

当部門は、教職員の皆さまの日常業務を支える基盤として、ドキュメントサーバー（tds7）、ファイルサーバー（tfs7）、グループウェア（Desknet's NEO）の運用管理を行っています。あわせて、CSIRT を含む高専機構本部への情報セキュリティインシデント報告の一部も担当しています。ここでは 2025 年度の状況を簡潔に振り返ります。

2025 年 4 月 1 日に、Desknet's NEO の本格運用を開始しました。これは、本校で契約していた旧グループウェアのサイボウズがクラウド版中心の方針となったことを受け、数年間の検討を経て移行したものです。クラウド版は校外ネットワークへの常時接続が前提となるため、機密情報を扱う本校の業務には想定外のリスクが生じ得ます。このため、校内の閉じたネットワークで完結できるパッケージ版グループウェアとして Desknet's NEO を選定しました。前年度の試験運用時には、「回覧・レポート」や「電子会議室」など、サイボウズとは使い勝手の異なる機能も話題になっていましたが、本格運用後はおおむね安定して利用されています。

情報セキュリティインシデントについては、疑いが生じた段階ですみやかに機構本部へ報告し、CSIRT の指示に基づいて対応しています。2025 年度には、機構本部への正式な報告を要する重要インシデントが 1 件発生しました。詳細は記載できませんが、この事案を教訓として予防策を見直し、必要に応じて利用者にも周知しながら、再発防止に努めてまいります。

他方、機密情報・個人情報の漏えいリスクを伴う「メール誤送信」への対応は、引き続き重要な課題です。誤送信はアドレスの自動補完機能に起因する事例が多いため、まずは「自動補完機能をオフにする」ことが最優先です。

本校では全教職員に対し、必ず自動補完を無効化するようにお願いしています。Thunderbird の設定手順は、以下の場所にマニュアルを用意しています。

¥¥tfs7¥03software¥01SupportSoft¥01Mail¥Thunderbird

同フォルダには、誤送信防止アドオン「Check and Send」の導入手順書もありますので、あわせてご活用ください。また、個別の連絡にはメールの代わりに Teams のチャット利用もご検討ください。短いメッセージでやり取りを始め、必要な情報だけを後から追加する運用は、誤送信の機会を減らすのに有効です。

ただし、チャットは誤送信の機会を減らせても、機密情報を送る場所ではありません。学生を含む周知用グループチャット、初回メッセージでのファイル添付、スクリーンショット送信には特に注意してください。一度送信した情報は、後から削除しても回収できません。漏えい・拡散は簡単に起こります。機密性の高い情報は、メール・チャットでは送信せず、必ず Desknet's NEO で取り扱ってください。

[資 料]

1. 新規導入ハードウェア・ソフトウェア一覧

令和7年度に新規に導入された主要なハードウェアとソフトウェアを報告します。

(1) 教育用電子計算機システムの機能強化用物品とソフトウェア

- ・ ESET PROTECT Entry オンプレミス スクールパック
- ・ desknet's NEO

(2) ネットワークサーバ更新用物品等

- ・ サーバー 1 台
- ・ UPS 1 台

(3) 事務用パソコン等

- ・ MACBOOK 1 台
- ・ 検証用 HP ProBook 4 G1a 14 1 台
- ・ HP ProBook 445 G11 1 台

2. 令和7年度授業・研究利用状況

2.1 授業での利用

表 部屋別授業科目一覧

情報 演習室 A	総合理工実験実習 [1 年] 総合理工基礎 [1 年] 情報リテラシー [1 年] プログラミング基礎 [2-C] 計算科学 [3 年] 全系横断演習 I [3 年] 国語Ⅳ [4 年] 情報システム [5-M(機械)] データサイエンス [5-C]
情報 演習室 B	機械システム工学実験実習Ⅰ [2-M] 情報システム工学実験実習Ⅰ [2-C] 機械システム工学実験実習Ⅱ [3-M] 情報システム工学実験実習Ⅱ [3-C] 全系横断演習Ⅰ [3 年] 機械設計創造演習 [4-M(機械)] 情報処理基礎演習Ⅰ・Ⅱ [MS-1・EC-1] 情報処理 [留学生]
情報 演習室 C	総合理工入門 [1 年] CAD 入門 [2 年] プログラミング基礎 [2-C] 全系横断演習Ⅰ [3 年] 情報システム工学実験実習Ⅱ [3-C] 機械設計製図Ⅱ [3-M] ICTシステム設計 [4-C(ICT)] ICTプログラミング応用 [4-C(ICT)] 応用機械設計 [5-M] 制御プログラミング [5-C(ICT)] 制御プログラミング [5 年選択] システムプログラミング [5-C] 機械システム [5-S・5-E・5-C] e ビジネス [5-C] 数値解析特論 [EC-2] 計算力学 [MS-2] 生産管理工学 [MS-2]

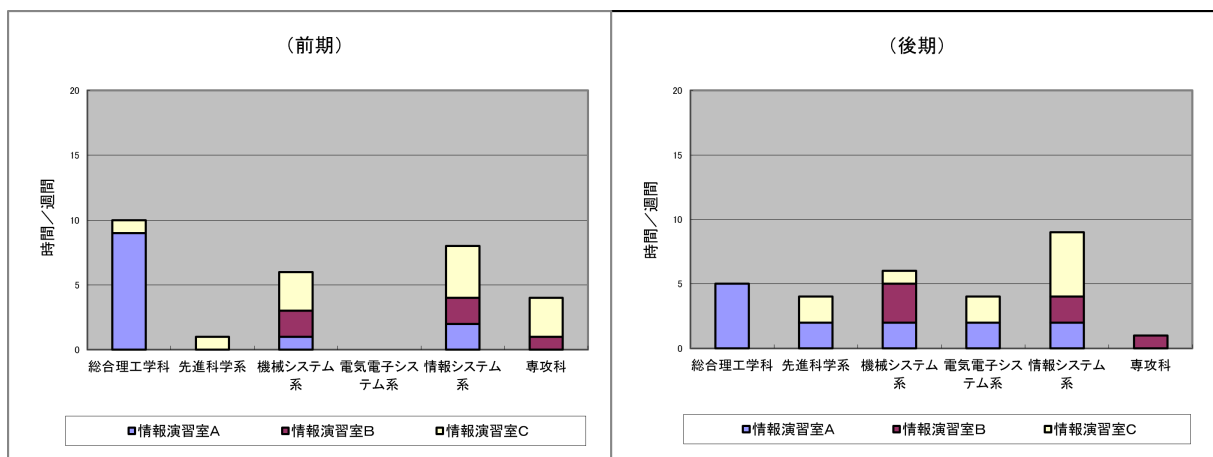


図 部屋別・学科別の利用時間

2. 2 研究での利用

教員の利用

学外のコンピュータと NAT または SSH を使用して接続利用

総合理工学科情報システム系 寺元貴幸

研究題目 : 物理数値シミュレーションプログラムの領域分割による
並列化支援

接続相手先: 宇都宮大学電気電子工学科 川田研究室

研究題目 : 問題解決環境(PSE)におけるプログラミング教育システムの開発

接続相手先: 宇都宮大学電気電子工学科 川田研究室

3. 開放利用

総合情報センターでは公開講座・見学などで、演習室を学外者に開放しています。

公開講座「夏休み科学教室」

- ・ 8月3日（日）に情報演習室Cを使い、「親子でたのしくコンピュータで絵をかこう」を実施しました。

つやまSTEAM人材育成塾

- ・ 7月12日（土）に情報演習室Cを使い、「プログラミング（micro:bit）」を実施しました。

4. 委員会報告（令和7年4月から令和8年3月まで）

4. 1 総合情報センター運営委員会

第1回（6月6日）

- （1）本年度の委員の紹介と役割分担及び前年度運営総括について
- （2）令和6年度決算報告と令和7年度予算執行予定について
- （3）各部門の重点項目について
- （4）令和7年度の行事予定について
- （5）その他

4. 2 総合情報センター連絡会

総合情報センター長、副センター長、専門教員、専門職員および学術情報係長の8名で開催している総合情報センターの運営に関する定期的な打ち合わせで、令和7年度は22回開催しています。

連絡会で報告された内容はすべて総合情報センター運営委員会に報告していて、報告および協議内容は以下のとおりです。

第1回（4月16日）

- （1）カレンダーメールの継続について （2）情報セキュリティ監査について （3）IIJセキュアMXサービスにおける情報漏洩の可能性について

第2回（4月30日）

- （1）予算申請について （2）津山高専LINEについて （3）教務システムの更新について

第3回（5月14日）

- （1）情報セキュリティ宣誓書 （2）国際交流で使用していたドメインについて （3）無線LANアクセスポイントの設置申請について

第4回（5月28日）

- （1）高専大会HPについて （2）日本弁理士会調査セミナーの要望について （3）ネットワーク使

用に関する宣誓書について

第5回（6月11日）

(1)センター員による公式 Web ページの更新について (2) tsuyama-ct.jp ドメインについて

第6回（6月25日）

(1)専門教員の補充について (2)ネットワーク使用に関する宣誓書について

第7回（7月9日）

(1)公式 Web ページの更新について (2)専門教員の補充について

第8回（7月23日）

(1)R09年度ネットワーク更新の日程案 (2)公式 Web ページの更新について

第9回（8月6日）

(1)教育システムのメンテナンス (2)tgw1の停止 (3)総合情報センター報の発行

第10回（8月28日）

(1)公式 Web ページの更新について (2)図書館のブラウジングコーナーのパソコン (Windows 10) は撤去

第11回（9月10日）

(1)計画停電 (2)Office2016, 2019 のサポート切れ

第12回（10月1日）

(1)令和9年度ネットワーク更新の日程 (2)令和7年度セキュリティ監査の実施チェックシートについて

第13回（10月15日）

(1)予算執行について (2)令和7年度セキュリティ監査について

第14回（10月29日）

(1)令和8年度BYODパソコンの選定について (2)生成AIの業務使用について

第15回（11月19日）

(1)令和7年度情報セキュリティ監査の結果 (2)演習室の床の張替え

第16回（12月3日）

(1)演習室のネットワークケーブルのロックについて (2)サーバ用UPSの導入について
(3)サーバ室のラック転倒防止策

第17回（12月17日）

(1)SINET6回線の増速について (2)冬季休業中の閉室について (3)令和8年度総合情報センター人事について

第18回（1月14日）

(1)総合体育館の設置に伴うネットワーク機器の選定について (2)情報センター長会議の出席報告 (3)訓練メールについて

第19回（1月27日）

(1)セキュリティ監査項目の指摘事項に対する対応 (2)訓練メール (3)サーバ室ラックの固

定について

第20回（2月18日）

- (1) 教育用システムのメンテナンス (2) 新統一ネットワークについて (3) 予算の執行状況
- (4) 教務システムのセキュリティ案件について

第21回（3月4日）

- (1) サーバ類のメンテナンス (2) FW のバージョンアップに伴う設定変更について

第22回（3月19日）

- (1) 令和8年度セキュリティセミナーについて (2) 新統一ネットワークのアクセスポイントの設置について (3) 令和8年度情報セキュリティ宣誓書について

5. 主要日誌（令和7年4月から令和8年3月まで）

4月 1日（火）	電子メールのグループ別名の切り替え
4月 2日（水）	総合情報センター利用者説明会開催
4月16日（木）	第1回総合情報センター連絡会
4月30日（水）	第2回総合情報センター連絡会
5月14日（水）	第3回総合情報センター連絡会
5月28日（水）	第4回総合情報センター連絡会
6月 6日（水）	第1回総合情報センター運営委員会
6月11日（水）	第5回総合情報センター連絡会
6月25日（水）	第6回総合情報センター連絡会
7月 9日（水）	第7回総合情報センター連絡会
7月23日（水）	第8回総合情報センター連絡会
7月12日（土）	「つやま STEAM 人材育成塾」が情報演習室Cを利用して開催
8月 6日（水）	第9回総合情報センター連絡会
8月 3日（日）	公開講座「夏休み科学教室」が情報演習室Cを利用して開催
8月 9日（土）	情報演習室閉室
～ 9月12日（金）	
8月28日（木）	第10回総合情報センター連絡会
8月22日（土）	オープンキャンパス2025
～8月23日（日）	
・情報演習室B「3次元CGを体験してみよう」	28名参加
・情報演習室C「ビジュアルプログラミングを体験してみよう」	53名参加
9月10日（木）	第11回総合情報センター連絡会
10月 1日（木）	第12回総合情報センター連絡会
10月15日（水）	第13回総合情報センター連絡会
10月29日（水）	第14回総合情報センター連絡会
11月19日（水）	第15回総合情報センター連絡会
12月 3日（水）	第16回総合情報センター連絡会
12月17日（水）	第17回総合情報センター連絡会
12月26日（金）	総合情報センター閉室
～ 1月6日（火）	
1月14日（水）	第18回総合情報センター連絡会
1月27日（水）	第19回総合情報センター連絡会
2月18日（水）	第20回総合情報センター連絡会
3月 4日（水）	第21回総合情報センター連絡会

3月19日(木) 第22回総合情報センター連絡会
3月23日(月) 情報演習室閉室
～ 3月31日(火)

6. 総合情報センターの予算執行状況

総合情報センターに配分されている予算を、どのような用途に使ったかを報告します。

ここに報告するのは経常経費で処置した物品等の主なもので、専用回線費用は除きます。

また、用途別に分類した上で主要なもののみを示しており、すべての項目を網羅したものでないことをお断りしておきます。

(1) 教育用設備・消耗品

・演習室前廊下脱臭機取設工事	127,600円
・演習室前廊下フロア張替工事	183,015円
・演習室A ガラスフィルム	220,220円
・演習室A 床改修工事	1,034,000円
・演習室A シューズロッカー	130,680円

(2) 運用管理用設備・消耗品

・サーバーラック耐震固定工事	404,800円
・NAS	355,000円

7. 令和8年度総合情報センター利用授業時間割

前期

曜日	時限	情報演習室A	情報演習室B	情報演習室C
月	1	総合理工実験実習 1年	数値解析特論 EC-2	
	2			
	3	情報システム 5-S	情報処理基礎演習 I MS-1	CAD入門 2-M
	4	総合理工基礎 1-3	情報システム工学実験実習 II 3-C	
	5			
	6	情報システム 5-E		データベース 5-C (ICT)
	7			
	8			
火	1	情報リテラシー 1-3	機械システム工学実験実習 I 2-M	制御プログラミング 5-S
	2			
	3	情報リテラシー 1-1		制御プログラミング 5-C (ICT)
	4			
	5			応用機械設計 5-M (機械)
	6			
	7			
	8			
水	1	情報リテラシー 1-2		制御プログラミング 5年選択
	2			
	3	総合理工基礎 1-1	情報システム工学実験実習 I 2-C	計算力学 MS-2
	4			
	5	データサイエンス 5-C		生産管理工学 MS-2
	6			
	7			
	8			
木	1	総合理工基礎 1-2		情報システム 5-M
	2			
	3			機械設計製図 II 3-M
	4			
	5			
	6		機械システム工学実験実習 II 3-M	
	7			
	8			
金	1	総合理工基礎 1-4		
	2			
	3	情報リテラシー 1-4		CAD入門 2-C
	4			
	5	プログラミング基礎 2-C		eビジネス 5-C
	6			
	7	ICTプログラミング応用 4-C (ICT)		総合理工入門 1年
	8			

後期

曜日	時限	情報演習室A	情報演習室B	情報演習室C
月	1	総合理工実験実習 1年		CAD入門 2-E
	2			
	3	計算科学 3-C	情報処理基礎演習Ⅱ MS-1	CAD入門 2-S
	4			
	5	計算科学 3-M	情報システム工学実験実習Ⅱ 3-C	
	6			国語Ⅳ 4-S
	7			国語Ⅳ 4-M
	8			
火	1	計算科学 3-S	機械システム工学実験実習Ⅰ 2-M	
	2			
	3		機械設計創造演習 4-M (機械)	機械システム 5-E
	4			
	5	国語Ⅳ 4-C		
	6	国語Ⅳ 4-E		
	7			
	8			
水	1	情報リテラシー 1-3		
	2			
	3	情報リテラシー 1-1	情報システム工学実験実習Ⅰ 2-C	情報システム工学実験実習Ⅰ 2-C
	4			
	5	情報リテラシー 1-2		
	6			
	7			
	8			
木	1			機械システム 5-E
	2			
	3			機械設計製図Ⅱ 3-M
	4			
	5			
	6		機械システム工学実験実習Ⅱ 3-M	
	7			
	8			
金	1	計算科学 3-E		機械システム 5-S
	2			
	3			システムプログラミング 5-C
	4			
	5	情報リテラシー 1-4		プログラミング基礎 2-C
	6			
	7			ICTシステム設計 4-C (ICT)
	8			

8. 令和8年度総合情報センター関連の委員と職員

以下に今年度の関連の委員と職員を掲載します。

8. 1 総合情報センター運営委員会委員

センター長	竹谷 尚
副センター長	
森 理也	(情報ネットワーク運用管理部門長・システム管理者)
嶋田 賢男	(教育システム運用管理部門長・システム管理者)
嶋田 悠彦	(事務処理システム運用管理部門長)
専門教員	森 理也
センター員	
田村 俊輔	(先進科学系)
野中 摂護	(機械システム系)
桶 真一郎	(電気電子システム系)
宮下 卓也	(情報システム系・システム管理者)
清水 大輝	(技術部・システム管理者)
山本 優夏	(総務課)
内田 美紀	(学生課)
三木 勝	(システム管理者)

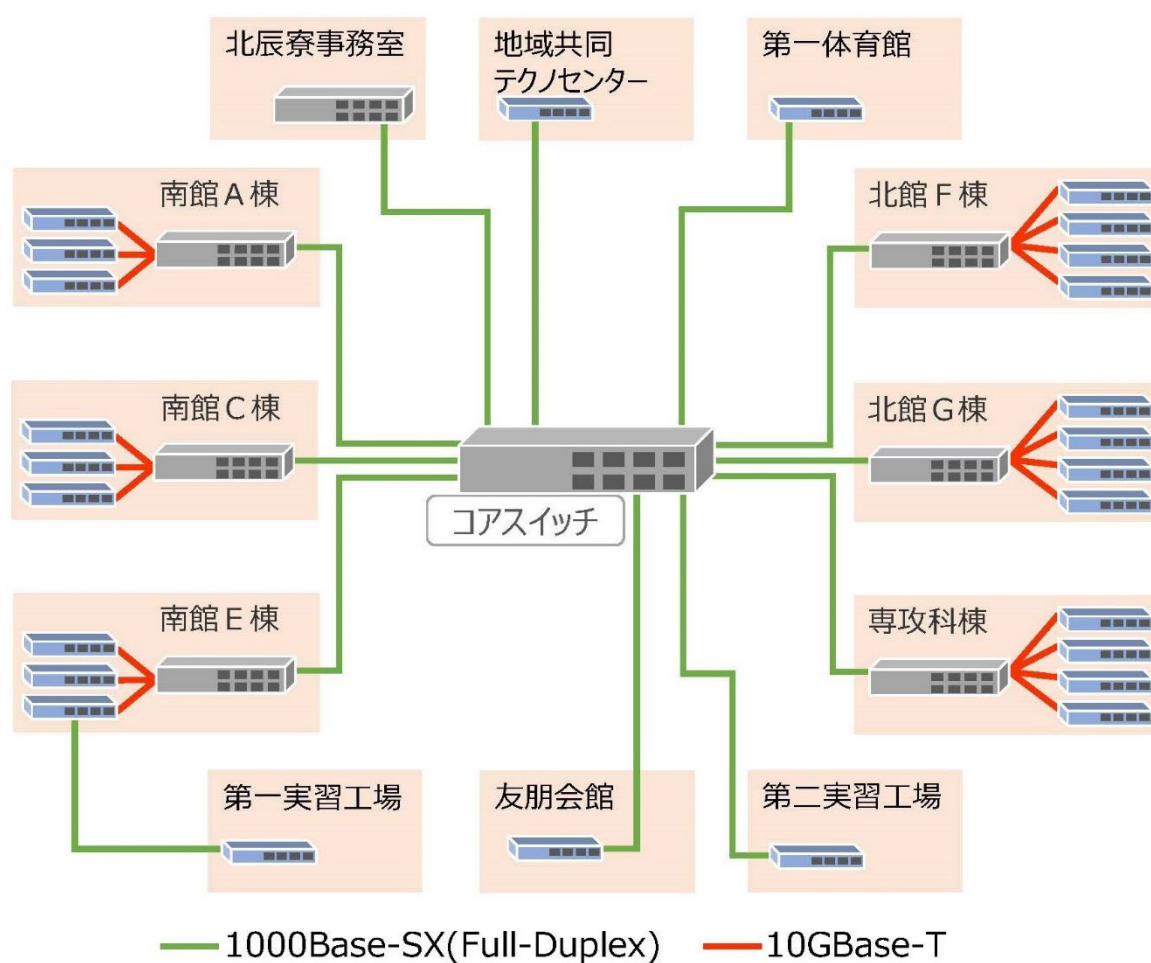
8. 2 総合情報センター職員

上記の総合情報センター運営委員会メンバー

事務補佐員： 小嶋 弘子

9. 校内ネットワーク

光ファイバによる 1Gigabit 基幹ネットワークに、スイッチング HUB 経由で、全校のどこからでもネットワークにアクセスでき、1Gbps の 1 回線の専用回線でインターネットに常時接続されています。学内ネットワークならびに学外向けの情報を提供する各種サーバ、大容量ディスク、バックアップシステムなど多数の機器が稼働しています。



編集後記

大変遅くなってしまいましたが、総合情報センター報第31号を発行することができました。令和8年度より教育システム部門副センター長を務めております嶋田です。今回初めて編集後記を担当させていただきます。

巻頭言は、新たに寮務主事となられた菊地先生にご寄稿いただき、「学生とAIと総合情報センターの未来」と題して、生成AIが教育や社会に与える影響について述べていただきました。数年前までは研究者や技術者の話題であったAIが、現在では学生のレポート作成やプログラミング支援、教職員の業務支援などにも活用される身近な存在となっています。今後もAI技術は発展を続け、教育のあり方や学び方そのものに大きな変化をもたらしていくことでしょう。

一方、本年度の各部門報告にもあるように、教育用計算機システム、校内ネットワーク、BYOD環境、各種サーバシステムなどは大きな障害もなく安定して運用することができました。また、演習室環境の改善やグループウェアの本格運用など、利用環境の向上にも取り組むことができました。利用者からはあまり意識されることのない部分ですが、こうした情報基盤は日々の教育・研究・業務活動を支える重要な役割を担っています。巻頭言では、将来はAI脳デバイスのような技術が登場し、総合情報センターの役割そのものが変化するかもしれないという未来像も語られていました。しかし、そのような時代になったとしても、利用者が安心して情報技術を活用できる環境を整備し、安全で快適な情報基盤を提供するという使命は変わらないのではないかと思います。

今後も総合情報センターでは、変化する情報通信環境に対応しながら、教育・研究・業務を支える情報基盤の維持・向上に努めてまいります。引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。（嶋田）

総合情報センター報第31号

発行日 2026年 9月
編集発行 津山工業高等専門学校
総合情報センター

〒708-8509 岡山県津山市沼624-1
Tel. 0868-24-8226（ダイヤルイン）